

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	(和文) トメアスー文化協会					
	(欧文) Assoc. Cultural de Tome-Acu					
設立目的	1.会員とその家族の定着のための相互扶助。2.会員の文化、医療及び社会生活の向上に協力。 3.農村振興協会と連帯して農村社会向上のための事業を行う。					
設立年月日	1966年 11月 15日		法人格取得年月日	1970年 3月 17日		
代表者	職名	会長		任期	98年 1月～ 99年 12月	
	氏名(和文)	新井 範明				
	// (欧文)	Noriaki Arai				
役員構成	顧問 6名、会長 1名、副会長 2名、理事 8名、監事長 1名、監事 2名、地区長会 15名 事務局長 1名					
本部所在地	Av. Gov. Dionisio Bentes 210, Quatro-Bocas, Tome-Acu, Para, 68682-000, Brasil					
連絡先	郵便物宛先	Caixa Postal 14, Quatro-Bocas, Tome-Acu, PA, 68682-000, Brasil				
	電話番号	091-734-1062	(団体)	個人宅[]		
	FAX番号	091-734-1062	(団体)	個人宅[]		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	192 世帯 名		地域内日系家庭全体に対する加入率：約 57 %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		136 世帯(71%)	56 世帯(29%)	人()%	人()%	0 人()%
法人、団体会員	0 法人(団体) 主な法人(団体)名：					
会員資格等	会員資格	・理事会が認める郡内居住自然人(日系人)。 ・理事会が認める郡内にある法人、その他の団体。				
	会費	年間 167 米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨 R\$1.20)				
	会員の特典	文化協会施設使用料、日本語学校授業料など				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 主に日本語					
定期出版物	タイトル	文協たより(企画中)				
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	事務局(総務・会計・文書その他の一般業務)		0
	*トメアスー農村振興協会との合併を前提に役員と事務局は農村振興協会が兼務。		
	夜警、清掃、雑役等の職員がいるのみである。		
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	トメアスー日本語学校	4	1
	イピランガ日本語学校	3	
	学生寮(清掃雑役等)		1

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
区長会	協会の諮問機関として各地区会員の意見上申や連絡を行い業務の円滑を図る	15
連合婦人部	各地区婦人会の連合体として婦人教養講座の主催や協会活動に側面的に協力	19
文化部	協会の傘下団体として各種文化活動を行い日本文化の伝承と親睦を図る。	12
体育部	協会の傘下団体として各種スポーツ活動を通じて青少年育成と親睦を図る。	21
第二トメアスー自治会	第二トメアスー移住地内の自治活動。	6
日系防犯委員会	移住地内の治安、防犯活動を担当。	18
植林委員会	関係官庁とともに環境問題を踏まえた植林活動の啓蒙と推進を図る。	10
移民史料収集委員会	日本人移民史料の収集と保安全管理を行う。移民史料展示館、初期移民の家の管理運営。	14
日語運営委員会・父兄会	青少年育成の一環として日本語を通じて日本文化の伝承と情操教育を行う。	10

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
文化会館	現在改装中であるが、協会事務所と理事室、多目的サロン(舞台あり)、小会議室、給湯室、喫茶室、談話室、移民史料展示館を併設し会員の娯楽や休息の場と業務遂行のために利用。
運動場	野球場、各種スポーツ、家族慰安運動会に利用。
学生寮	一階は日本語学校校舎、二階は来客その他の宿泊設備として利用。
スポーツセンター	野球連盟の事務所、会議室として建設したが、現在は日本語学校幼稚科教室として利用。
婦人会炊事舎	文化会館に併設、連合婦人会の集会所、各種講習会、協会催物等への協力に利用。
別館	現在は貸事務所として利用。
独立宿舎	日本からの派遣シニア、青年ボランティア用宿舎として建築。
初期移民の家	初期日本人移民の生活環境を展示。一般にも見学開放。
移民の森	敷地内約1町歩を利用、原始林の見本林を入植100年祭を目標に復元するため造林中。 「小さな木を植えよう」植林キャンペーン。「ハル」コンサート記念歌碑建設予定。
アンテナ塔	治安車無線電話用として建設、農村電化電話組合の農村電話用アンテナ塔として貸与

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～ 97年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1.会費収入	28,958.00	1.専門家報酬 (弁護士・会計士)	3,348.00
2.賃貸料収入		2.人件費	
サロン	2,468.00	給料	8,526.00
事務所	8,573.00	家族手当	214.00
車輛	327.00	時間外	219.00
アンテナ塔(農村電話)	751.00	退職積立金	1,087.00
家賃(シニア教師)	11,946.00	厚生年金	3,483.00
ビデオテープ	4,653.00	臨時雇用	8,550.00
学生寮	2,644.00	3.諸税公課	156.00
3.手数料		4.諸経費	
印刷業務	1,861.00	学生寮経費	4,727.00
諸手続き(領事館等)	166.00	青少年育成助成	1,139.00
コピー	368.00	日本語学校助成	2,140.00
4.寄付金	3,247.00	敬老会	106.00
5.その他の収入	95.00	事務費	413.00
		会議費	4,077.00
		水道・光熱費	4,096.00
		通信費	791.00
		交通費	49.00
		出張費	705.00
		会館管理費	1,215.00
		墓碑管理費	25.00
		修繕費	5,191.00
		夜警費	2,154.00
		交際費	1,629.00
		治安費	4,651.00
		車輛費	183.00
		消耗費	605.00
		書籍・新聞	559.00
		祭典(68周年)経費	424.00
		総会経費	686.00
		汎アマソニア日伯協会	1,000.00
		銀行経費	61.00
		雑費	333.00
		5.次期繰越金	3,515.00
合計	66,057.00	合計	66,057.00

換算レート: US\$1=現地通貨 R\$1.20 (98年 11月 15日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額		61,393.00	57,047.00	83,135.00	85,040.00
支出額(実績)		32,204.03	47,041.84	71,223.40	82,542.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・域内行事、対外交渉（州、郡）、総領事館手続業務、JICA助成金業務。 ・各種講演会、講習会の主催と共催。 ・日本語学校運営。 ・防犯活動、植林事業の啓蒙、移民史料収集と保全管理。 ・各視察、学術研究団への便宜供与。 ・各県人会活動の窓口的業務及びその他日系住民の諸問題解決への便宜供与。

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：防犯治安対策

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯治安対策の立案と啓蒙 ・事件発生時の対応と処理 ・警察、司法局への取次ぎ ・捜査活動への治安車動員 ・特捜隊（州刑事局）招聘 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察の機動力の弱体 ・司法局の対応の緩慢さ ・地域内防犯活動が手薄（出稼・高齢化社会） ・捜査等個人経費負担重 	<ul style="list-style-type: none"> ・日系防犯委員会活動 ・警察との情報交換 ・各地域自警団組織 ・治安車でのパトロール ・防犯対策協力募金活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・十字路市街地警察署と第二トメアスー地区への警察分署の新設要請 ・警察機動力の充実要請

2) 分野名：日本語教育

<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校経営 ・教師謝金の支給 ・教師研修会への参加 ・日本研修員の推薦 ・運動会の開催 ・お話・弁論大会 ・教材開発 ・幼児児童からの教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・植民地継承語から外国語としての日本語の位置付け ・教師の待遇改善とともに専従教師、青年教師育成 ・音楽絵画等情操教育導入 ・現状にあった教材の充実 ・幼稚科の基礎教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に教える日本語教育の教材開発に努力 ・情操教育指導の青年ボランティア派遣を要請中 ・4歳児からの教育実践 ・教師教育講座への参加 ・本邦研修への派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイリンガル教育可能な私学の開設
---	---	--	---

3) 分野名：域内親睦・地域交流・国際交流

<ul style="list-style-type: none"> ・開拓先亡者追悼法要及びミサ ・入植祭、記念式典 ・日本各官庁への申請業務 ・傘下文化芸能・スポーツ団体開催行事への支援協力 ・移民史料収集と保全及び移民史料展示館管理 ・文化・農事講演会的主催と共催、教養講座 ・留学生・研修生の斡旋手続 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化による参加者や利用者の減 ・域外移民史料収集資金難 ・二、三世家族の協会離れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・移民史料展示館の運営 ・移民の森、初期移民の家など歴史的価値観の啓蒙 ・郡教育局、州文化局との情報交換と支援要請 ・傘下団体の域外活動への支援、協力 ・老若男女参加の行事企画 ・各種留学・研修の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・新文化会館を多目的に利用して日伯両文化の啓蒙と推進を図る ・地域社会の文化の殿堂
---	--	---	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・将来の文化協会運営問題	<ul style="list-style-type: none"> ・「21世紀のコロニアを語る」委員会を組織し定期的に意見交換をしながら将来のコロニアの在り方を模索している。日系団体統合もその一環であるが、文化協会の存続意義を認める相互理解の上での世代交替に努力している。 ・今後の協会運営費捻出問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会発展のための文化の殿堂と高齢者移民の心の拠り所としての「場」作り ・日本はじめ諸地域との種々の情報交換の場 ・農村振興協会との合併推進

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

JICAを通じて日本語学校教師の本邦研修、汎米研修、先進地視察・研修などに参加頻繁ではないが、パラグアイ・ボリビアの日本人会を通してのコロニア視察団の受け入れ等。たまにパラグアイ国イグアス日本人会の機関誌がJICAを通して送付されている。

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

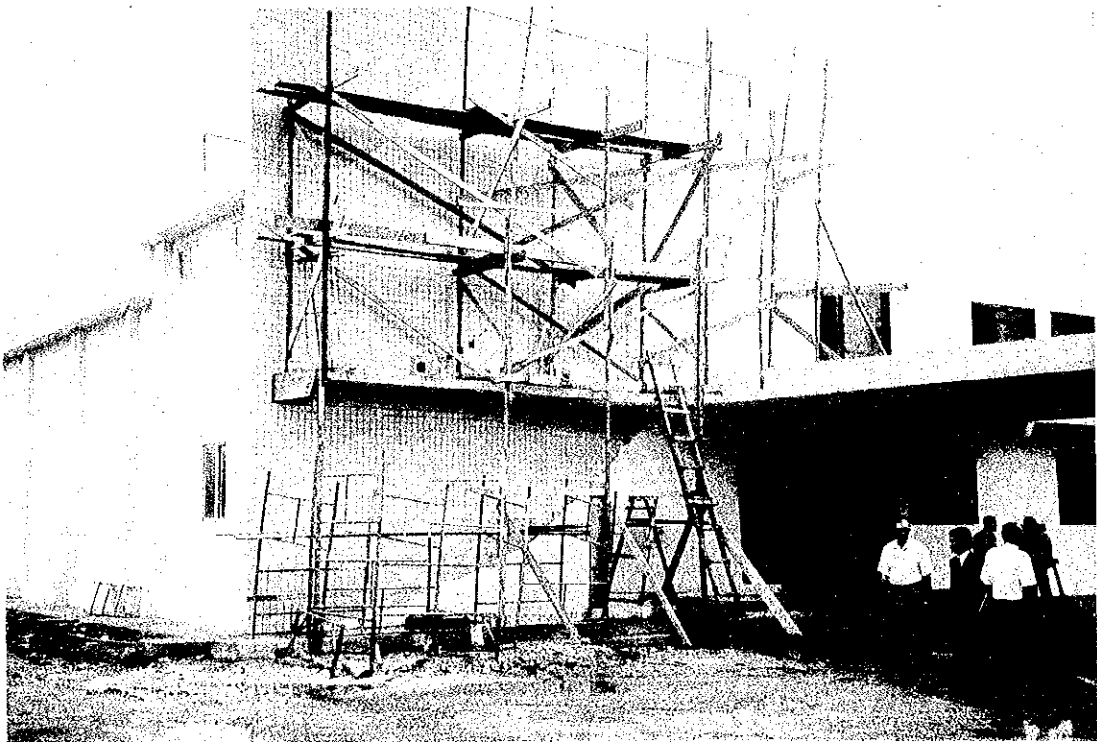
中央政府との関係	外人登録手続、身分証明書登録手続、運転免許証取得手続のため各官公庁が職員を当地に派遣して行うなど信頼関係にある。
地方自治体との関係	郡長、郡役所とは密接な友好関係にあり、入植祭やその他の協会及び傘下団体の催物には優先的に協力を得ている。また、郡行政にも厚生福祉局長官、農務局長官と教育文化局長官を抜擢してそのスタッフとして多くの日系人が重要ポストに就いている。十字路市街地の通りや公園の名前に千葉、沢田、平賀氏等その功績を称えて名前が命名されている。
地域住民・民間団体との関係	当協会の催物への地域住民の参加や地域団体などが行う催物の協会施設利用は常に門戸を開いている。運動会は現地校や地域住民との合同であり、「UNDO-KAI」というポルトガル語が定着している。当協会植林委員会のメンバーには、政府出先機関の技師も参加して啓蒙運動をしている。現地民間団体の催物への日系人参加の呼掛けは、当協会が窓口になっており、友好的な関係にある

(3) JICAへの要望・期待

コロニアの高齢化が進み、正会員の減少が進む中で当協会は、協会運営費の捻出に苦悩している。将来の文化協会の在り方を考えるとき、日系人のみではなく地域社会により門戸を開き、多くの住民が利用、活用できる場としての文化協会運営を考慮している。その目玉となる史料展示館もJICA助成により完成しつつあり、アマゾン日本人移民発祥の地として次代を担う若い世代や外部の研究者のためにもより一層の充実を図るために史料収集とその管理等に努力しているが、外部（州外、日本等）に流れた史料も多々あり、その収集は資金不足のため手のつけられない状況にある。協会としても徐々に行動する考えであるが、よろしくご協力願いたい。尚、日本語教育関係は青少年育成のための重要な部門であり、治安問題については関係当局は機動性に欠け自主防衛にも限界があり、安心して仕事にいそしめる環境作りのためご協力ご支援を期待したい。



初期移民の家



文化会館

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	レシフェ日本文化協会					
	(欧文) Assoc. Cultural Japonesa do Recife					
設立目的	1972年6月に、レシフェ市及び近郊在住の日系人の親睦団体として発足し、当時レシフェのサドキン社社長の山本勝三氏からの多額の寄付金を以て学生寮（山本千代学生寮と命名）が建設された。1982年には、国際協力事業団の現地法人JAMIC社の撤廃とともに同法人の行っていた業務を代行する委託団体となり、これを機に当協会事務局も学生寮内に移転し、その後、診療室、会議場などの施設を備えるようになる。					
設立年月日	1972年 6月 23日	法人格取得年月日	年 月 日			
代表者	職名	会長		任期	98年 4月～ 00年 4月	
	氏名(和文)	近藤 守				
	// (欧文)	Mamoru Kondo				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、第一総務 1名、第二総務 1名、第一会計 1名、第二会計 1名、医療衛生 1名、援護 1名、体育 1名、教育 1名、治安 1名、理事 1名、理事 1名					
本部所在地	Rua Epaminondas Cristovao de Oliveira 107, Bongi, Recife, PE, 50000-000, Brasil					
連絡先	郵便物宛先	Rua Epaminondas Cristovao de Oliveira 107, Bongi, Recife, PE, 50000-000, Brasil				
	電話番号	081-227-1401	(団体・個人宅[]))			
	FAX番号	081-227-1401	(団体・個人宅[]))			
	E-mailアドレス	aya@hotmail.com.br	(団体・個人宅[坂口]))			
会員数	個人会員	142 世帯 約350 名		地域内日系家庭全体に対する加入率：約 50 %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		90人(25%)	123人(35%)	105人(30%)	36人(18%)	7人(2%)
法人、団体会員	法人(団体) 主な法人(団体)名：					
会員資格等	会員資格	・				
	会費	年間 38米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨 R\$1.30)				
	会員の特典	医療の割引と月に五人まで無料血液、便、尿検査・日本語教室入学・会報無料配布				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	役員会議は70%程度日本語					
定期出版物	タイトル	レシフェ会報				
	発行部数	160				
	言語	日本語とポルトガル語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	事務局		1
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	学生寮	1	2
	レシーフェ日本語学校		8

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
役員会	会の方針や行事等の決定をする。	13
事務局	役員会の決定事項を実行する。	1

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
学生寮	現在6名の大学生と2名の予備校生が入寮している。殆どがバイア州や、ペルナンブーコ州の奥地にあるペトロリーナ市周辺に住む家族の子弟である。いずれの家族も経済的に裕福といえる家庭はない。現在寮費は月に45レアルで1ドル1.3レアルのルートで換算すると34ドルとなるが、現在は1ドルが1.9レアルであるので、24ドルにも満たない。寮費だけの学生寮運営は不可能と言える。今年の一月下旬より塗装工事及びその他の修理を始めたが、建物も古く、雨漏りや水道、污水管等に漏れが生じているが、全てには手が行き届かない状態といえる、寄付金等で資金繰りをする必要がある。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997 年度収支計算書 (97年 1月 1日～ 99年 1月 1日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越	232,638.92		
会員会費	4,923.08		
寄付金	769.23		
JICA業務委託	28,900.73		
学生寮寮費	5,294.23		
資金運用益	37,883.01		
その他の収入	1,517.25		
育英資金貸付返済金	7,599.65		
		同上貸付額	14,953.85
		人件費	25,888.93
		通信費	1,152.88
		消耗品	290.46
		電力料金	1,506.76
		ガス・水道料金	2,290.89
		保守営繕費	992.00
		自動車維持費	1,342.93
		清掃費	1,404.28
		交際費	156.15
		租税公課	375.32
		会議費	423.62
		旅費	473.08
		銀行・登記所手数料	84.03
		C P M F	597.24
		雑費	258.46
		巡回診療業務費	4,560.09
運動会収支	1,265.03		
忘年・敬老収支	732.05		
健康診断会収支	97.69		
		日本語学校勘定	1,352.84
		その他の事業費	190.00
		仮勘定定期中増減	912.05
		次期繰越金	262,404.99
合計	321,620.87	合計	321,610.85

換算レート：US\$1=現地通貨 R\$1.30 (97年 12 月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況 (US\$)

年度	1995	1996	1997		
予算額					
支出額(実績)		65,820.95	59,205.86		

4. 事業概要

(1) 事業内容

・学生寮運営	・運動会	・釣り大会
・育英資金貸付	・忘年会	・マージャン大会
・日本語学校運営	・敬老会	・日本文化祭後援
・巡回診療（委託業務）	・ソフトボール大会	
・日系研修の斡旋（委託業務）	・チェス大会	

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：文化事業（年間行事、親睦事業）

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
運動会・忘年敬老会・ソフトボール・チェス大会・マージャン大会・釣り大会・サンジョアンのパーティ	専用の会場を所有していない。運動会やソフトボール大会に使える文協専用のグラウンドがない。忘年会、サンジョアン、チェス等の専用の会場がない。	室内用の会場は現在天理教教会サロンを使用し、屋外用の会場はゴルフクラブのグラウンドを借用している。	将来お年より向けにゲートボールチームを作ろうという声がある。会員の減少も見込まれるので現状に見合った対処すべきであるが、グラウンドをなんとか入手したい。

2) 分野名：医療衛生

今年1998年度は合計5名の医師グループで、ペトロリーナ・ボニート・ナタル・フォルタレーザの四箇所巡回診療を行い、レシーフェ市内でも当文協会員を対象に健康診断が行われる。	巡回診療車が古くなって来たために余分な修理費や故障が多くなって来た。旅行するものにとっては、心配の原因となり落ち着いて車の運転が出来ない。国道の舗装状態が悪く穴ボコが多い事と、特に治安が悪い為、故障等が原因での路上駐車は常に大変な危険を伴う。		
---	---	--	--

3) 分野名：日本語教育

毎週土曜日3時間の日本語の授業8名のボランティア教師と約35名の生徒	教師後継者の育成・生徒数の減少・目に見える実績が上がっていない（検定試験合格等の）・日系人社会内の日本語に対する関心度の低下	日系人以外と会員以外の生徒の入学許可。授業内容の充実と外国語としての日本語教材の使用とその統一化。	小人数の教師でも教えられる、教授法の確立。教師の待遇の向上。日本語教育の実績の向上。
------------------------------------	--	---	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
3世4世の日本人会離れが目立っている。	親睦会等で3世4世等や子供達も気軽に参加できる行事を多く持つ。	3世、4世が入りやすい環境づくり。青年会への援助、協力。

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	バイア州日伯文化協会連合会 (欧文) Federacao Cultural Nipo-Brasileira da Bahia				
設立目的	1) 日伯機関と協調し会員相互の親睦を図る為。 2) 日伯相互間の文化の交流を促進する為。 3) 会員相互の文化、教育、医療及び体育の振興を図る為。 4) 会員相互の社会、生活基盤、生活環境の整備を行う為。				
設立年月日	1983年 4月 13日	法人格取得年月日	1983年 5月 3日		
代表者	職名	会長(代行)	任期	98年 3月～99年 4月	
	氏名(和文)	竹並 智秀			
	// (欧文)	Tomohide Takenami			
役員構成	顧問 1名、会長 1名、副会長 1名、総務 2名、会計 2名、理事 3名、監事長 1名、 監事 2名、監事補助 3名、モデル校運営委員 計7名				
本部所在地	Rua Campinas de Brotas 104-E, Brotas, Salvador, BA, 40275-160, Brasil				
連絡先	郵便物宛先	Rua Campinas de Brotas 104-E, Brotas, Salvador, BA, 40275-160, Brasil			
	電話番号	071-359-3490	(団体)・個人宅[]		
	FAX番号	071-359-3490	(団体)・個人宅[]		
	E-mailアドレス	なし	(団体)・個人宅[]		
会員数	個人会員	_____世帯_____名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約_____%			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降
		530人(____%)	不明	不明	不明
法人、団体会員	_____法人(団体) 主な法人(団体)名：				
会員資格等	会員資格	・バイア州内に住所を有する民法上の法人格を取得している日系人団体または 設立準備をしている日系人団体で、理事会が認めたもの。 ・理事会が本会に特に功労ありと認めたもの。			
	会費	年間 255 米ドル相当額 (換算レート：US\$1=現地通貨 R\$ 1.20)			
	会員の特典	各種行事への参加			
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等) 日本語、ポルトガル語併用				
	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 日本語、ポルトガル語併記				
定期出版物	タイトル				
	発行部数				
	言語				
	価格 (有料の場合)				

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	事務局		1
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	学生寮	1	
	日本語モデル校	6	2

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
学生寮	寮母1名、家政婦1名、寮生約10名
日本語学校	週3日開校。他に職員会議、研修等に利用
事務局	月曜から金曜まで常時2名の職員で運営

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998年度収支計算書 (98年 1月 1日～ 98年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
①前期繰越金	21,150.00		
②連合会会費	2,292.00	不動産税、火災保険	2,180.00
③事業収入			
1: ゲートボール大会	1,455.00	大会経費	2,153.00
2: ソフトボール大会	720.00	大会経費	1,564.00
3: 日系青年講習会	1,750.00	講習会経費	2,160.00
4: 日語教師通信講座	300.00	教材作成及び通信費	350.00
④その他収入		その他	
資金運用益	800.00	施設営繕費	1,254.00
		会議及び交際費	1,000.00
⑤JICA助成金			
日本語教師合同研修費	5,514.19	同研修会経費	5,930.00
日本語教師謝金	10,586.07	同配付	10,586.00
日本語教材購入費	5,189.83	同購入、配付	5,189.00
⑥JICA委託業務費			
平成9年度第4四半期	4,246.00	平成9年度第4四半期	4,246.00
平成10年度第1～3 四半期	12,040.80	平成10年度第1～3 四半期	11,240.00
		今期繰越金	18,191.89
合計	66,043.89	合計	66,043.89

換算レート: US\$1=現地通貨 R\$ 1.20 (年 月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	63,970.00	83,000.00	105,100.00	66,230.00	64,775.00
支出額(実績)	42,750.00	64,790.00	79,950.00	49,330.00	43,625.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・自治活動（主催行事、JICA助成金関連） ・学校管理
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・域内日語校の管理 ・教師謝金の支給 ・研修会の開催 ・合宿大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の減少 ・若手教師の不足 ・教師の待遇改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教師の育成方法を検討中。 ・現地日系人会への生徒の勧誘を依頼。 ・教師研究協議会にて検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育としての日本語の明確化。 ・日系、非日系の境をなくし、地域の日本語学校を目指す。

2) 分野名：域内親睦

<ul style="list-style-type: none"> ・連合会主催行事（ソフトボール、ゲートボール等） ・青年講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の減少に一定の歯止めがかかり、現状では安定中。今後は世代を越え楽しめる行事等の企画運営を進める必要あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地青年会等への積極的参加を呼び掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各日系コロニアの親睦交流の継続、強化。
--	--	---	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

従来通りの支援、協力を要望する。

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	リオ州日伯文化体育連盟					
	(欧文) Sociedade Cultural e Esportiva Nipo Brasileira do Est.do Rio de Janeiro					
設立目的	日系人協会会員間の親睦、日本文化の継承、各種スポーツの交流、医療福祉の強化、地域社会に貢献。					
設立年月日	1954 年 9月 27日		法人格取得年月日	1976年 1月 4日		
代表者	職名	理事長		任期	97年 1月～ 99年 1月	
	氏名(和文)	菅原 和司				
	// (欧文)	Kazushi Sugahara				
役員構成	理事長 1名、副理事長 4名、執行理事 9名、一般理事 36名、監事役 3名、 評議員会 24名、相談役 2名、顧問 5名、寮長 1名、事務局長 1名					
本部所在地	Av. Franklin Roosevelt 39, Sala 919, Castelo, Rio de Janeiro, RJ, 20021-120, Brasil					
連絡先	郵便物宛先	Av. Franklin Roosevelt 39, Sala 919, Castelo, Rio de Janeiro, RJ, 20021-120, Brasil				
	電話番号	021-262-2416	(団体・個人宅[])			
	FAX番号	021-262-7232	(団体・個人宅[])			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	1,15 世帯 名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 52 %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(%)	人(%)	人(%)	人(%)	人(%)
法人、団体会員	24 団体 主な法人(団体)名:					
会員資格等	会員資格	・リオ州内各日系人協会 ・他州日系人協会でも特にリオ州に近い協会で当連盟の行事に参加可能な日会				
	会費	年間 500～1,800米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨 R\$1,21)				
	会員の特典	年間を通し各種行事に参加出来る。JICA委託業務に参加出来る。				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語、ポルトガル語の両方					
定期出版物	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語、ポルトガル語の両方					
定期出版物	タイトル	あゆみ				
	発行部数	500				
	言語	ポルトガル語、日本語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務部	1	1
経理部	1		
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	学生寮	2	
	日語モデル校		
	教材センター	1	1

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
イタグアイ文化クラブ		
ニテロイ日系協会		
パプカエア農村体育クラブ		
ノーバ・フリブルゴ日伯文化体育協会		
リオ・デ・ジャネイロ日系協会		
リオ・デ・ジャネイロ日本クラブ		
カンポ・グランデ日系協会		
チングア日系クラブ		
ピラネーマ・エスベランサ体育クラブ		
フンシャル文化体育協会		
ピアベッタ日系クラブ		
レッタ・ド・リオ・グランデ農村協会		
サン・ベント日系協会		
アングラ・ドス・レイス クラブ		
ジャブイーバ体育協会		
サンタ・アリセ日系クラブ		
ボルタ・レドンダ文化協会		
テレゾーポリス日系クラブ		
ベドラ・リーザ日本人協会		
マカエ日系協会		
グアビミリン文化体育協会		
レゼンデ日伯文化体育協会		
リオ・デ・ジャネイロ・スポーツ同好会		
イパチンガ日伯文化体育協会		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
学生寮	常時職員が2名おり、管理業務に当たっている。
日語モデル校	
教材センター	随時開いて希望者に利用してもらっている。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997 年度収支計算書 (97年 1月 1日～ 97年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1.前期繰越金	29,330.00	1.給料・賞与・社会保障負担金	35,560.00
2.会費収入	18,775.00	2.会議費	688.00
3.事業収入		3.会費・税金・寄付	2,964.00
広告料	4,738.00	4.印刷費	5,745.00
カラオケ	490.00	5.賃金役務費	3,583.00
敬老会	966.00	6.通信運搬費	4,389.00
手数料	1,137.00	7.水道光熱費	6,416.00
奨学金回収	8,728.00	8.維持修繕管理費	7,197.00
4.その他収入		9.消耗品	2,613.00
資金運用益	1,770.00	10.雑費	368.00
寄付	1,224.00	11.旅費	1,876.00
5.JICA助成金		12.教材教具費	6,074.00
日本語教師合同研修会	10,064.00	13.日語教師謝金	37,305.00
日語教師謝金	37,300.00	14.日語教師研修	10,757.00
教材等購入費	6,050.00	15.農事研究費	2,274.00
農事研究費	2,274.00	16.次期繰越金	14,587.00
6.JICA委託金	19,550.00		
合計	142,396.00	合計	142,396.00

換算レート: US\$1=現地通貨 R\$1.0822 (97年 7月 24日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	120,000.00	120,000.00	120,000.00	123,000.00	140,000.00
支出額(実績)	113,500.00	120,850.00	118,400.00	111,436.00	127,809.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

- ・傘下諸団体にかかわる文化的・体育的事業の企画、実施を行う。
- ・『あゆみ』の発行。
- ・学生寮の運営・管理
- ・JICAの業務委託
- ・総領事館関係業務

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：文化的事業

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
当連盟がスポーツ的色彩の濃いクラブとして発展してきたため、文化的事業の企画、実施の立ち遅れが否定できない。	今後の二世・三世の世代にいかに関係人としての自覚と継承を行っていくかが大きな課題である。		

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	リオ州政府、市政府とは常に交流。
地域住民・民間団体との関係	在リオ日本国総領事館、リオ日本商工会議所、リオ文化協会、リオ日系協会とは共催で各種行事を実施している。

(3) JICAへの要望・期待

- 1.委託業務の日程が年によってまちまちである。（実施期間は決まっているが、募集要項の来る時期が不定である）。
- 2.業務委託費が毎年遅れている。特に第1四半期分が遅れる。
- 3.最低年1回は事務局長会議を開催していただきたい。

アルゼンティン共和国



海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	日系農業者団体連絡協議会					
	(欧文) Consejo Agricultores de Nikkei BS-AS					
設立目的	1.花卉、野菜、果樹栽培に関する研究及び新技術の普及、その適用によって品質の向上、増産を図る。2.市場開拓、経済問題、法律問題、輸出入問題等の諮問促進を図る。					
設立年月日	1994年 8月 11日		法人格取得年月日		1995年 2月 23日	
代表者	職名			任期	98年 7月～00年 6月	
	氏名(和文)	玉置 昭雄				
	// (欧文)	Akio Tamaki				
役員構成	理事長 1名、副理事長 1名、幹事 1名、副幹事 1名、会計 1名、副会計 1名、正理事 1名、補欠理事 2名、監査役 1名、監査役補欠 1名					
本部所在地	JICA-CETEFFHO Calle G. de Aristizapal, Castelar, Prov. de Bs As, Argentina					
連絡先	郵便物宛先	C/O Cooperativa de Colonizacion Argentina Ltda. Venezuela No 2130 (1096), Bs As, Argentina				
	電話番号	011-4481-3736/3864	(団体・個人宅[Ceteffho])			
	FAX番号	011-4481-3497	(団体・個人宅[Ceteffho])			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	世帯 190 名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ___ %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		95人(___ %)	94人(___ %)	___人(___ %)	___人(___ %)	1人(___ %)
法人、団体会員	___ 法人(団体) 主な法人(団体)名: 16研究会					
会員資格等	会員資格	・法人として義務構成を持つ青年にして理事会が認めたもの ・日系、非日系を問わず ・研究グループに属する農業経営者またその子弟				
	会費	年間 60米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨)				
	会員の特典	1.日本、ブラジル両国の研修コースへの推薦 2.土壌、水の無料分析 3.研究費の助成 4.特殊農薬の配布				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等) 日本語及びスペイン語					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
定期出版物	タイトル	日農協ニュース(月刊)				
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務	1	
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
事務所	園芸総合試験場内1事務所を借用。必要に応じて職員が業務遂行。(時間給別払い)
会議室	必要に応じ上記試験場内の会議室を借用。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 7月 1日～ 98年 6月 30日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
1.前期繰越金	7,500.00	1.職員給与	3,600.00
2.会費収入	10,200.00	2.交通費、通信費	1,050.00
3.事業収入	1,600.00	3.事務用品購入	1,000.00
・品評会即売		4.会合、接待費	1,600.00
4.その他	500.00	5.その他	2,350.00
・銀行利子		・弁護士、会計士謝礼	
・寄付		6.次期繰越金	10,200.00
合計	19,800.00	合計	19,800.00

換算レート: US\$1=現地通貨 1ペソ (98年 6月 30日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	8,000.00	7,700.00	9,100.00	9,700.00	11,800.00
支出額(実績)	4,700.00	4,400.00	6,500.00	8,400.00	9,600.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・春秋の農産物品評会 ・春秋の優良農家見学 ・会員の実態調査、土壌分析 ・特殊農薬、ホルモン剤の配布 ・専門家による講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・各国への研修生の推薦 ・研究グループ単位で助成金の配布代行 ・JICAシニア・ボランティアの要請
---	---

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：研究部門

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
日本、ブラジル両国から専門家が来亜。講演会、現地での指導を受けている。	専門家の話は専門的に過ぎる場合もあり、実際に栽培している人を招聘できないだろうか。	現地の二世農学士による農業普及員の養成ができないものかと考えている。	各種園芸資材の安価購入。会員特典として原価で販売する。会員の生産物販売の折り、中間業者を介さずスーパー等へ直接販売する。

2) 分野名：活性化

年中行事として春秋品評会による生産者と消費者との交流。優良農家見学後、生産者間の交流昼食会。	一世世代から二世へとバトンタッチしていく時期に当面しており、もっと若い人が加入しやすい環境づくりが必要と思われる。	会の活動状況をもっと宣伝する必要がある。会の目標や活動状況、その利点等。	
--	---	--------------------------------------	--

3) 分野名：会員の特典

現在は土壌、水分の分析を無料で実施、また、発根ホルモンを有料（原価）で配布。	分析をもっと完全なものにしたい。その設備資材を揃える。高価な資材を大量購入、会員に原価で販売する	ほとんど園芸総合試験場の器具を使用しているが、ある程度は自前のものを揃えていきたい。	
--	--	--	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

隣国ブラジル、ウルグアイと相互視察、懇談会の実施

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	ブエノス・アイレス日亜学院 (日亜バイリンガル・スクール)					
	(欧文) Instituto Privado Argentino Japonesa en Buenos Aires					
設立目的	a) 日亜両国間の友好親善と両国文化の精神的理解を深める。 b) アルゼンチン共和国において、日本の文化、伝統および習慣の継承ならびに普及を図る。 c) アルゼンチン国の教育当局の定める教育法、学制規則および教育方針に従って、就学前教育(幼稚園)、小学校および中高等学校水準の教育機関を創立、組織、運営、維持する。					
設立年月日	1927年 2月 20日	法人格取得年月日	1969年 9月 3日			
代表者	職名	理事長	任期	98年 4月～99年 3月		
	氏名(和文)	真木 信明				
	// (欧文)	Nobuaki Sanagi				
役員構成	[理事会(経営母体)] 理事長 1名、副理事長 2名、幹事 1名、副幹事 1名、書記 1名、副書記 1名、 会計 1名、副会計 1名、会計監査 2名 [学院管理職(運営母体)] 公認小学部校長 1名、教頭 2名、公認中高等部校長 1名、事務局長 1名					
本部所在地	Yatay 261-1184, Bs As, Argentina					
連絡先	郵便物宛先	Yatay 261-1184, Bs As, Argentina				
	電話番号	011-4983-3310	(団体)	個人宅[]		
	FAX番号	011-4982-0569	(団体)	個人宅[]		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	世帯 100名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ___ %				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		10人(10%)	60人(60%)	10人(10%)	___人(___%)	20人(20%)
法人、団体会員	___法人(団体) 主な法人(団体)名:					
会員資格等	会員資格	・18才以上のアルゼンチン人または、アルゼンチン永住権を所有するもの				
	会費	年間 120米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨1ペソ)				
	会員の特典	給食費、学用品、催し物参加費の割引				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	ほとんどが現地語(スペイン語)					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	学校案内(スペイン語)公式書類は公認校ゆえすべて現地語(スペイン語)					
定期出版物	タイトル	日亜学院だより				
	発行部数	400				
	言語	現地語、日本語両方				
	価格(有料の場合)	無料				

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	事務局		6
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	教育部小学部スペイン語課	29	
	教育部小学部日本語課	29	
	教育部中高等部	23	
	食堂	9	
	掃除婦	7	
	夜警	2	

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
顧問理事会	理事会を見守り、他の日系機関との渉外を行う	7
母の会	理事会を助け、学院の運営が円滑に行なえるよう協力する	20

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
学校	全日制幼稚園、小学部、中高等部が週5日利用。土曜日の幼稚園・小学部・土曜日の成人向け日本語講座に利用。金曜日、土曜日のクラブ活動に放課後利用。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～97年12月31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1) 前期繰越金	291,343.84	1) 人件費	1,192,351.75
2) 授業料給食費収入	1,197,195.02	2) 諸々税	14,921.73
3) 事業収入		3) 金融税	6,812.25
・バザー	28,453.70	4) 寄付金	296.97
・協力券販売	64,910.00	5) 食堂経費	151,498.27
・70周年記念行事	44,139.07	6) 事業経費	
4) その他収入		・バザー	7,722.65
・資金運用益	7,401.44	・協力券景品	25,366.00
・寄付金	14,494.30	・その他経費	33,717.07
・私学助成金	72,369.92	・70周年経費	92,880.97
・その他助成金	36,570.60	7) 建築費支払	217,421.36
5) JICA助成金		8) 次期繰越金	349,126.87
・中高等部校舎建設 5カ年計画	335,238.00		
合計	2,092,115.89	合計	2,092,115.89

換算レート：US\$1＝現地通貨 1ペソ (99年 1月 7日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	1,361,000.00	1,912,000.00	1,789,000.00	1,750,000.00	1,800,000.00
支出額(実績)	1,391,000.00	1,608,500.00	1,707,700.00	1,939,800.00	1,743,000.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・アルゼンチン公認学校（日西バイリンガル校）運営 ・幼児児童向け土曜日本語学校運営 ・成人向け日本語講座運営 ・青少年向けスポーツクラブ運営 ・給食、食堂運営

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：現地公教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・アルゼンチン文部省のカリキュラム	・他の有名な民族系バイリンガル校と肩を並べたい	・民族系バイリンガル校を訪問し、経営運営面で相互交流を図る。	・私立学校としての経営運営マインドを、管理職教諭事務局職員に、そして、理事会理事に持たせたい。

2) 分野名：日本語教育

・幼稚園児、小学中学高校生への課外授業	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の（公的）資格の問題 ・日本語教育の公認化 ・幼児児童青年向け教材の不足と動機付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の教諭の資格を持った日本語教師またはその逆の養成。 ・法的には可能だが、制度の公的認知をどうするか。 ・他国の児童向け日本語教育の実態の把握と交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外交ルートでの教育協定（教諭の正規派遣）の実現。 ・卒業生の日本文部省の公的認知（資格）を取得したい。 ・情報交換とともに教材の共同開発の援助を日本へ要請したい。
---------------------	--	---	--

3) 分野名：

--	--	--	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

ブラジル国サンパウロ日本語普及センター 機関紙の相互送付・人的交流

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	アルゼンチン政府に日亜学院中高等部設立に関して、国家的利益としての法令を頂く。
地方自治体との関係	ブエノスアイレス教育庁私立学校監督課から1983年に日系公認校（小学部）として認可を得る。同じく1995年に日系公認校（中高等部）の認可を得る。
地域住民・民間団体との関係	地域の住民に門戸を開いており、アルゼンチン人なら誰でも入学できる。日系の学校としてそして地域の学校として、レベルの高い学校と評価を得ている。

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	在亜日本語教育連合会					
	(欧文) Centro de Cultura e Idioma Japonés en la Argentina					
設立目的	・日本語の教育と奨励、また日本文化をアルゼンティン国に普及すること。					
設立年月日	1960年 10月 2日	法人格取得年月日	1979年 3月 29日			
代表者	職名	会長	任期	98年 6月～99年 6月		
	氏名(和文)	津留 浩				
	// (欧文)	Hiroshi Tsuru				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、幹事 1名、副幹事 1名、会計 1名、副会計 1名、理事 23名 監査 4名(内1名補欠)、正副運動部長 各1名、正副文化部長 各1名 正副日本語能力試験委員長 各1名、事務局長1名					
本部所在地	Dr. Enrique Finochetto 840, C.P.1272, Cap. Fed., Argentina					
連絡先	郵便物宛先	Dr. Enrique Finochetto 840, C.P.1272, Cap. Fed., Argentina				
	電話番号	011-4362-8893	(団体)	個人宅[]		
	FAX番号	011-4362-8893	(団体)	個人宅[]		
	E-mailアドレス	kyoren@houseware.com.ar	(団体)	個人宅[]		
会員数	個人会員	世帯 18名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____%		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(____%)	人(____%)	人(____%)	人(____%)	人(____%)
法人、団体会員	24法人(団体) 主な法人(団体)名: ブエノスアイレス日亜学院					
会員資格等	会員資格	A) 正会員 正会員として役員会で承認された成人、及び正式に設立されている法人。 B) 名誉会員 本会に貢献した人に対し、又は定められた条件の人に対し、役員会の提案若しくは選挙権のある10名以上の会員の推薦のものに総会任命する。 C) 賛助会員 本会に入会の希望を有している成人、及び正式に設立されている法人で前記会員以外の者。当会員は会費を払わないが、発言権を有し投票権は有しない。そして、会費の代わりに、会の利益となる他の物的、あるいは労的な手段を計る事が出来る。				
	会費	年間 60米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨\$1ペソアルヘンティーノ)				
	会員の特典	日本語教材				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	現地語(スペイン語)、日本語の両方					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	スペイン語、日本語の両方					
定期出版物	タイトル	教連だより	アルゼンティンの日本語教育			
	発行部数	40	50～100			
	言語	スペイン語、日本語	日本語			
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務部		2
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	亜日大学生センター	1	2

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
運動部	・ 毎年4月の合同運動会、5月のピンポン大会の準備実行	20
文化部	・ 当会主催各種日本語関係行事の企画準備実行	20
日本語教育センター	・ 当会独自の「日本語力だめし」、日本語教材開発、教師養成等の対策	10
亜国日本語教育研究会	・ 当会加盟日本語学校教師団体	107
亜日大学生センター	・ 首都圏、大学に通学する地方よりの日系子弟への勉学場所、並びに、寄宿場所の提供を目的（学生自主運営）	13

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
会館	・ 常時職員がおり、業務遂行の為に利用。同会館内にある多目的ホールにて各種日本語教育行事のイベントを開催している。さらに、上級者（日本語）を対象にした日本語講座や日本の武道（空手）などのクラスにも利用している。
学生センター	・ 1994年より首都圏の国立私立大学に通う学生が寄宿している。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 4月 1日~98年 3月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越金	77,446.22	一般会計	
一般会計		事務運営事業費	
1: 会費	31,390.50	1: 給与	20,800.00
2: 教材配布料	4,890.15	2: 社会保障	3,410.95
3: ビデオ配布料	1,265.00	3: 一般管理費	18,247.61
4: 会場賃貸料	1,000.00	4: 会館維持費	3,630.72
5: その他	12,193.43	(含公共料金)	
行事会計		5: 機器維持費	1,828.47
1: 福引券販売上	4,244.00	6: 通信費	579.05
2: カだめし模擬	3,285.00	7: 交通費	1,717.45
3: 中学生講座	4,762.00	8: 事務用品費	279.35
4: 中学生体験	1,705.00	9: 会議交際費	1,676.04
5: その他	584.20	10: 教材資材費	6,527.80
6: 他会計余剰	0.00	11: 他会計移行	0.00
特別会計		12: その他	3,483.10
1: JICA助成金	67,176.00	行事会計	
2: JF助成金	16,685.70	1: 運動会	2,682.70
3: 参加費	4,650.00	2: ビンポン大会	301.80
4: 受験料	16,258.00	3: 三大コンクール	3,038.10
5: その他	9,933.00	4: 日本語力だめし	595.00
予備会計		5: 中学生講座	5,653.76
1: 利子収入	1,484.00	6: 中学生体験	2,568.40
2: 寄付金	0.00	7: 日教センター経費	0.00
3: 他会計余剰	0.00	特別会計	
4: 減価償却費	0.00	1: スピーチコンテスト	908.60
		2: 全国研修会	16,447.10
		3: 巡回セミナー	0.00
		4: 維持校長研修	2,777.07
		5: 日語教師謝金	30,240.49
		6: 亜日研経費	7,453.00
		7: 日語能力試験	8,545.18
		8: 夏季集中講座	9,658.54
		9: 時間外手当	6,329.85
		10: アルバイト給与	2,466.85
		11: その他	10,144.40
		12: 他会計移行	0.00
		予備会計	
		1: 施設機器費	764.27
		2: その他	21,566.92
		3: 他会計移行	0.00
		次期繰越金	64,629.63
合計	258,952.20	合計	258,952.20

換算レート: US\$1=現地通貨\$1ペソアルヘンティーノ (98年12月 1日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額		224,900.00	192,780.00	190,710.00	166,140.00
支出額(実績)		166,699.60	190,976.80	264,709.56	182,314.57

4. 事業概要

(1) 事業内容

- ・自治活動(加盟校対象に域内行事、対外交渉、JICA、国際交流基金助成金関連)
- ・亜日大学生センターの運営
- ・加盟校からの教材注文受け付け、発送、教材開発
- ・国際交流基金主催「日本語能力試験」の現地実施機関

(2) 重点分野への取組(重要度が高い順に記載)

1) 分野名: 日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・加盟校への支援 ・日本語教師謝金の支給 ・日本語教師研修会の開催 ・日語教師・生徒の募集選考(本邦研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各維持会の日本語に対する取り組みが世代交代の為、明確でない。 ・各地域によって日本語能力差があるため、まとまった教材が作成しにくい。 ・若手二世、三世教師の育成が、早急に必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育センターを設立。 ・日本語専門家、シニアボランティア(JICA)よりの支援等を受け教材開発、二世教師育成等に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育の位置付けを明確にし、父兄始め教師等にも日本語教育の重要性を充分理解していただき、活性化をはかる。

2) 分野名: 地域交流

<ul style="list-style-type: none"> ・年中行事として運動会等のスポーツ行事。 ・夏休みを利用した中学生夏期特別講座。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当会の運動会等に参加する事の意義が減少してきている。 ・合宿形式を取っているので、宿泊の確保の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校運動部員会にて競技内容等の検討を行っている。 ・亜日大学生センター建設を早急に解決する事により、宿舎を確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日系社会全体のスポーツを通じた日本語教育の認識。
---	---	--	---

3) 分野名: 国際交流・地域交流

<ul style="list-style-type: none"> ・亜日大学生センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備が最終的に完備していないので、宿泊の対応が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、協力券の発行を行って資金を作り、現在新規の宿泊部屋等を建設している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は地方出身の学生の為の学生寮となっているが、今後は亜国人、日系人社会のすべての人達の総合文化施設にしたい。
--	--	---	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

- | |
|---|
| ・ブラジル国サンパウロ日本語普及センター主催による「日本語巡回セミナー」を通しての情報交換 |
| ・インターネットを通しての日本との情報交換 |

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	1998年度は「日垂修好100周年」の年に当り、日本より皇室の方などが来亜された際、現地日系団体連合会からの学生参加要請があり、加盟校に連絡を取り参加していただいた。

(3) JICAへの要望・期待

- | |
|------------------------------------|
| ・青年、シニアボランティア等のソフト面での支援、継続 |
| ・亜国の日本語教育の実態を把握した、活気にあふれた青年等の人選、派遣 |
| ・亜国の日本社会に抵抗なく溶け込む事が出来る人達の人選、派遣 |



会館正面入口（教連）



事務局（教連）

